

受理年月日	平成26年12月22日	付託年月日	平成26年12月24日	所管委員会	第2委員会
番号	26年請願第29号				
件名	志賀島小学校の存続について				
請願者	東区大字志賀島412 志賀島小学校を守る会 折居 正和 外 1,264人				
紹介議員 分割付託	高山、富永(周)、尾花、川上(晋)、綿貫、中山、熊谷、星野、宮本、荒木、藤本、三角 なし				
要旨	<p>志賀島小学校は、小規模校と位置づけられています。</p> <p>志賀島は、国宝金印の出土や陸繋島で小学校の教科書に取り上げられており、2000年の歴史と文化を誇る価値のある島です。この島には古代の海神族「安曇族」が創建した志賀海神社が鎮座し、芸能の原点とされる舞や祭りが伝わり島民全体で守り今に伝えています。年間70余りの祭りを小中学生もその一員として学び、地元住民とともに深くかかわってきました。</p> <p>また、同校は平成27年に開校140周年を迎える歴史のある小学校で、まさに地域コミュニティの核としてこれらの歴史・文化を受け継ぐ役割も担ってきました。</p> <p>学区再編・統廃合に伴う地域社会の核としての小学校が消滅することは、当該地域内に学齢期児童を持つ家庭の減少につながり、地域のさらなる少子高齢化を加速させ、地域コミュニティ衰退に拍車をかけ、将来的には地域の存続が危惧されます。</p> <p>みずからの居住地域の資源・魅力を再認識・再評価し、地域の人的資源・自然資源、歴史・文化資源が教材として、学びの場として、師として利活用され特色ある教育活動が望める環境にあり、児童数や学校規模の大小だけでは子どもの育成に適するか否かははかれないものと思慮されます。</p> <p>文部省(当時)は昭和48年(1973年)に小規模校の特性を生かした教育を目指す“Uターン通達”を出し、①無理な学校統合の禁止、②小規模校の尊重、③通学の負担を配慮、④学校の地域的意義の考慮、⑤住民合意の5つを掲げました。</p> <p>これらの志賀島特有の事情、環境を考慮し、志賀島小学校を存続するため、小規模特認校の認可、その他のあらゆる方法で存続するための施策を施行されることを切に願います。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <p>1. 志賀島小学校を存続すること。</p>				
審査 年月日	平成 年 月 日	結 果		委員会 平成 年 月 日	
	平成 年 月 日			本会議 平成 年 月 日	
	平成 年 月 日				

平成 26 年 12 月 22 日

福岡市議会議長
森 英 鷹 様

請願者 「志賀島小学校を守る会」

住所 〒811-0323 福岡市東区大字志賀島 412

氏名 折尾正和 ■

外 126 人

請願の趣旨

「福岡市立志賀島小学校の存続」していただくことを請願致します。

請願理由

福岡市立志賀島小学校は、小規模校と位置づけられています。

志賀島は、国宝『金印』の出土や『陸繫島』で小学校の教科書に取り上げられており、2000年の歴史と文化を誇る価値のある島です。この島には古代の海神族「安曇族」が創建した志賀海神社が鎮座し、芸能の原点をされる舞や祭りが伝わり島民全体で守り今に伝えています。年間70余りの祭りを小中学生もその一員として学び、地元住民と共に深く関わってきました。

また、同校は平成27年に開校140周年を迎える歴史のある小学校で、まさに地域コミュニティの「核」としてこれらの歴史・文化を受け継ぐ役割も担ってまいりました。

学区再編・統廃合に伴う地域社会の「核」としての小学校が消滅することは、当該地域内に学齢期児童を持つ家庭が減少につながり、地域の更なる少子高齢化を加速させ、地域コミュニティ衰退に拍車をかけ、将来的には地域の存続が危惧されます。

自らの居住地域の資源・魅力を再認識・再評価し、地域の人的資源・自然資源、歴史・文化資源が教材として、学びの場として、師として利活用され特色ある教育活動が望める環境にあり、児童数や学校規模の大小だけでは子供の育成に適するか否かは計れないものと思慮されます。

文科省は昭和48年（1973年）に小規模校の特性を活かした教育を目指す“Uターン通達”を出し、①無理な学校統合の禁止、②小規模校の尊重、③通学の負担を配慮、④学校の地域的意義の考慮、⑤住民合意の5つを掲げました。

これらの志賀島特有の事情、環境をご考慮いただき、志賀島小学校を存続するため、小規模特認校の認可、その他あらゆる方法で存続するための施策を施行していただくことを切にお願いいたします。

「志賀島小学校を守る会」

代 表 折居 正和

住 所 福岡市東区大字志賀島 412

電話番号